



コロナ禍から学ぶ 都市の未来像

ランドスケープからのアプローチ

**Lessons from Covid-19 : Toward New Urban Visions
Approach from Landscape Design in Japan**

10.31

15:00-16:30

参加無料

CLAビジョンセミナー
(造園 CPD 1.5 単位)

- ※ オンライン開催
- ※ 要事前参加申込

主催：一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 (CLA)
一般社団法人公園からの健康づくりネット (PH)
共催：ランドスケープ経営研究会 (LBA)
後援：公益財団法人都市活力研究所 (UII)

www.cla.or.jp
parkhealth.jp
www.lba-j.org
urban-ii.or.jp

誰もが都市の発言者

私たちのひとりひとりが都市の参加者であり発言者です。

国連ハビタットは、毎年10月に「アーバン・オクトーバー」というフォーラムを開催し、都市や町の急速な変化が生み出した課題や現象について誰もが声をあげることのできる機会を促しています。国や地方自治体、大学、NGO、コミュニティ等、立場や分野を越えて、「持続可能な都市」のための活動や議論を開催または参加することが奨励されています。

「ここちよさ」と「しなやかさ」

人々の「ウェル・ビーイング」と「レジリエント」な都市。

近年、国際的な都市の議論ではこのふたつの言葉がたびたび用いられています。それぞれの言葉は、全体的な充足感と困難からの立ち直りの強さを示すものです。どちらも普段はあ

話し手

小野 隆 (おの りゅう)

(一社) 公園からの健康づくりネット 業務執行理事

コロナ禍でもたらされた生活の変化は、これまで当たり前とした考えを大いに揺さぶっています。新しい希望を世界の事象から考えたいと思います。



新畑 朋子 (にい はた ともこ)

CLA 技術委員会委員

この世界的な混乱のなか、静寂になれる空間の大切さが見直されています。今こそ日本の伝統的な空間創造の技術を世界に伝える機会だと感じています。



鈴木 綾 (すずき りょう)

WUP 高齢者と公園委員会委員・LBA 第2部会会長

選ばれる街づくりでは、都市を構成する割合が大きい公共空間のデザインがますます重要になります。「ここちよさ」と「しなやかさ」を備えた公園と街についてお話しします。



聞き手

田村 将理 (たむら まさみち)

東京工業大学塚本研究室・WUP 高齢者と公園委員会委員

ランドスケープから築く—しなやかな都市の心身ともにここちよい暮らしと社会を求めて

まり口にしない言葉ですが、私たちはそれらを日々の暮らしの中で「ここちよさ」と「しなやかさ」としてよく知っているのではないのでしょうか。世界が目指す都市の未来像について、私たちにとっても親しみのある言葉で語り合いたいと思います。

社会的コストを和らげる公園

新型コロナは公園の豊かな可能性を明らかにしました。

街における公園等のオープンスペースの充実、休息のための緑地を与えるだけでなく、病気予防と健康づくりのための運動から、非常時の予期せぬ活動のための場所の提供にいたるまで、さまざまなかたちで社会的コストを和らげることができます。ここちよい暮らしとしなやかな都市をつくる豊かなランドスケープをこれからの未来に向けてどう育てていくかについて、行政、景観、建築、健康、文化などの観点から参加者の市民や専門家たちと検討します。

CLA ビジョンセミナー

コロナ禍から学ぶ都市の未来像

日時	令和2年10月31日(土) 15:00 - 16:30
場所	オンライン (Go To Meeting) 開催
内容	世界の公園のコロナ対応と日本の公園の可能性 討論「社会的コストを和らげる街のあり方」 参加者からの質問・意見に基づく質疑応答
費用	参加無料 (PC など視聴環境はご用意下さい)
備考	造園 CPD 認定プログラム対象 (1.5 単位)
申込	CLA ウェブサイトの最新ニュースより 本イベントページのフォームをご利用下さい https://www.cla.or.jp/news/